

姫路駅北駅前広場計画に関する 各種団体からの提案

平成20年11月18日

要望の骨子

1. 開放感あふれ、安心安全な豊かなサンクンガーデンの実現には新駅ビルの地下から2階部分をセットバックして広く公共空間として確保されたい。
2. コンコース正面には広い階段を設けて、一人でも多くのJR利用客がスムーズに地下に降りられるよう配慮されたい。
3. 新駅ビルのテナントは周辺の商業施設に無い斬新な業種及び一般市民の利便性を高める公共施設等を誘致されたい。
4. バスターミナルには地下に広場を設け、地下との連携を図り、乗り換えの安全性や利便性を確保されたい。



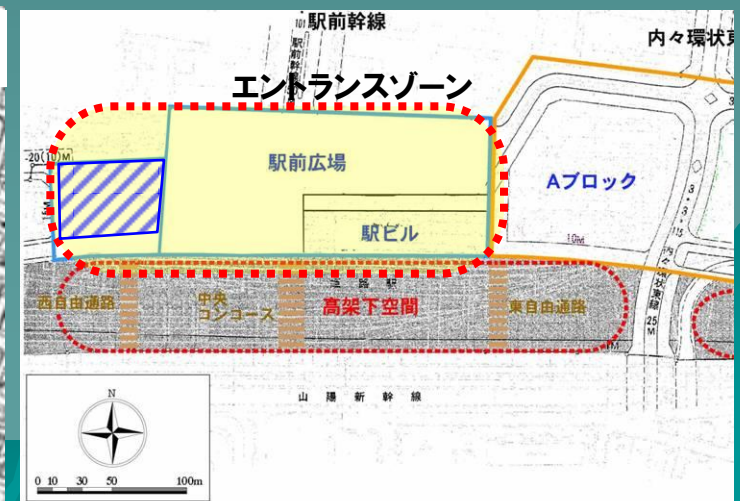
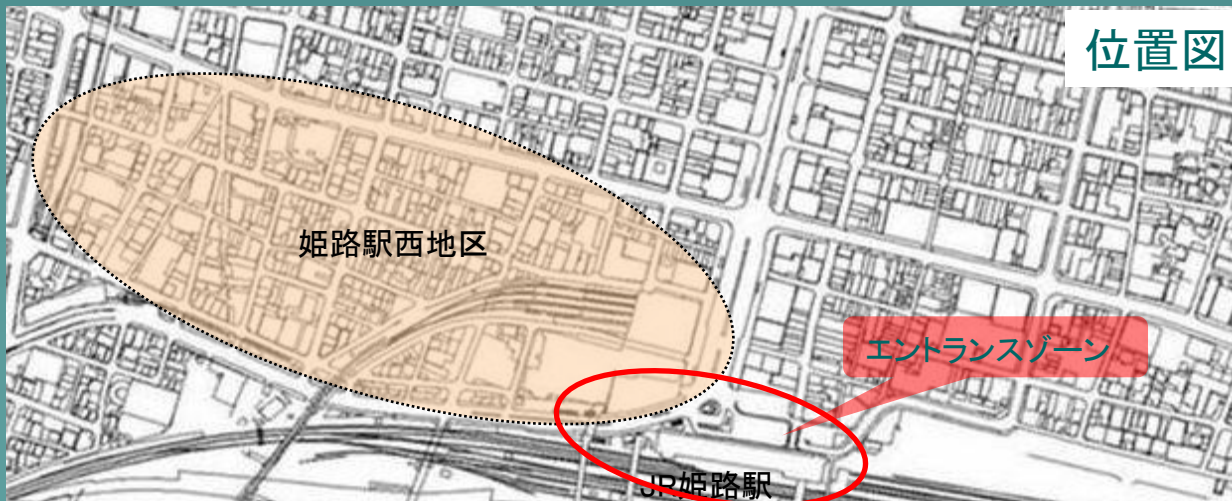
姫路駅周辺整備に伴う駅西地区街づくりについて(骨子)

1. エントランスゾーンについて

- ア 交通センタービル予定地と現神姫バスターミナルを活用し、駅前広場を広くすること。
- イ 世界遺産の町にふさわしい駅前広場を創造し、広場に城と対峙するシンボルを設置すること。
- ウ 新バスターミナルへは地下、新駅ビル、駅西自由通路などから全天候デッキで結ぶこと。
- エ 内々環状西線と高尾線の交差付近に駅送迎用の自動車の溜まり場を設置し、キャスパ等と全天候デッキで結ぶこと。
- オ 新駅ビルの地下及び駅前広場全域を含む広々としたサンクンガーデン式の地下街にすること。

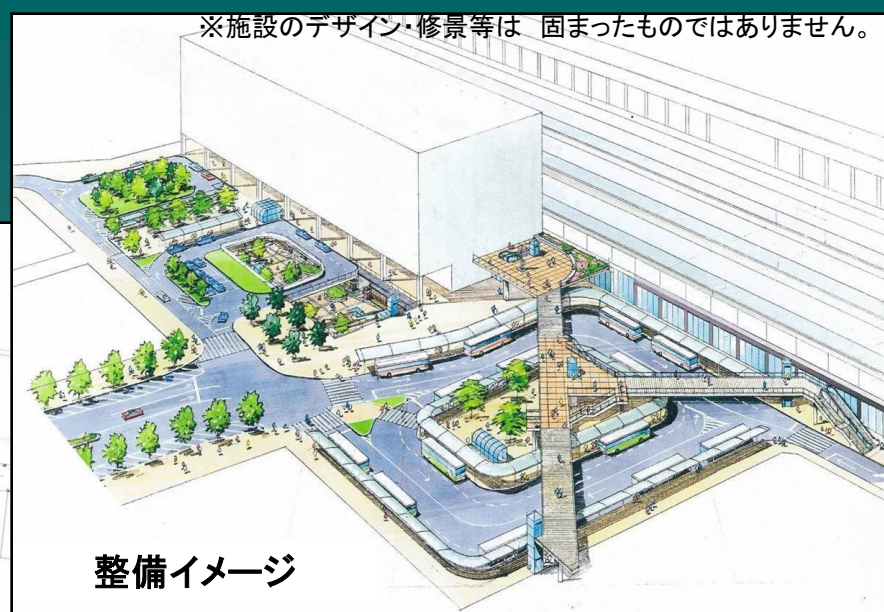
2. 駅西地区について

- ア 大手前通りを「公園道路」とし、駅西・駅東地区の分断を解消して駅前地区の一体化を図ること。
- イ 十二所前線と国道2号の対面交通を実現すること。
- ウ 内々環状西線と大手前通りの間に南北貫通道路(人道)をつくり、駅西自由通路と結合させ、駅前から駅西へのアプローチを円滑にすること。
- エ 南町商店街から十二所神社までの通りを「姫路の食の台所」と位置づけ、統一観のある店舗住宅集合通り実現の支援及び規制をすること。
- オ 旧モノレール施設、ホテル、集合住宅の地域全体の抜本的改善をすること。
- カ 旧山陽電車の線路跡を緑地帯とし、都市交通整備補助空地として整備、位置づけをすること。



都市計画変更の参考平面図

※この案をベースに関係機関との実施協議やデザイン等の検討を進める。



提案の骨子

～お祭り広場と各所への配慮～

- ◆お祭り広場(さくら広場)と舞台階段
- ◆新桜門橋・姫路城を眺める場所の提供
- ◆駅西地区への歩行者の誘導
- ◆既存地下街への配慮(歩行者の誘導・排煙の確保等)

～交通利便性に配慮した動線計画～

- ◆交通広場(公共交通機関の集約)
- ◆交通利便性に配慮した動線計画

～「さくら」による演出～

- ◆駅から姫路城までを「さくら」で演出
- ◆さくら並木～水の広場



提案の骨子

1. 駅前広場の機能配置は、駅南広場やコアゾーンも含め、駅周辺エリア全体を考慮すべき。
2. 北側に隣接する市バス転回場、西側に隣接する街区を取得し、複合交通センターの実現を含めて検討してほしい。
3. 交通結節機能を重視した上で、景観にも重点を置き、水や緑溢れ、憩いと潤いを感じる、姫路らしい豊かな広場とすべき。

また、たとえば、新駅ビルが大手前通りの東側歩道沿いのビル群と面を合わせるようセットバックして建てられる等、周辺との調和に配慮してなされるよう指導力を発揮することを期待する。

